施策の評価シート（令和５年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051235
		施策	35	市民活動の促進	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（番号）			111	～	112	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
111	市内における市民活動団体の活動内容等の情報を広く発信し、市民活動のつながりや広がり、市民活動への参加を促進するとともに、市民活動の核となる人材を育成し、市民活動団体の地域の課題解決などに向けたまちづくりへの参加・参画を進めます。	B	①	地域連携課
112	市民や市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境づくりや市民活動団体の声を受け止める場の創設など、それぞれのニーズに合った支援を充実します。	A	④	地域連携課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	市民活動センターにおいて、指定管理者制度を活用した施設の使用許可、市民活動に関する相談業務、セミナー開催等によって、市民や市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境を堅持し、市民活動の促進を図りました。一方、新たな活動団体の設立時における支援や先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体等への活動支援については、申請数が減少していることから令和6年度より事業内容の見直しを行います。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A	A				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051235111
		施策	35	市民活動の促進	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			111	市内における市民活動団体の活動内容等の情報を広く発信し、市民活動のつながりや広がり、市民活動への参加を促進するとともに、市民活動の核となる人材を育成し、市民活動団体の地域の課題解決などに向けたまちづくりへの参加・参画を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容		事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価		
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価		
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性		
111-1	市民活動センター管理運営業務	地域連携課	協働の街づくりの推進のため、市民活動の支援、住民による交流の促進、そのほか地域社会の発展に係る活動の推進に関する支援	効	市民活動を支援するとともに、住民による積極的な交流等の場の提供を行うことにより、地域社会の健全な発展を促進する	◆ 指定管理者による市民活動センターの適切な実施（要求水準に基づく実施）	○		指定管理者による施設の使用許可を始め、市民活動に関する相談業務やセミナーが実施される等、効果的な運営が行われた。
				誰	津市民及び津市の問題解決のための活動を行う市民活動団体	◇ 施設の利用人数	○		
				何	津市における市民活動を促進することにより、津市の地域課題を解決し、住みよいまちづくりの促進を行う	15,562（千円）	現状維持		
111-2				効		◆			
				誰		◇			
				何		（千円）			
111-3				効		◆			
				誰		◇			
				何		（千円）			
111-4				効		◆			
				誰		◇			
				何		（千円）			

施策の内容評価シート（令和5年度分）

111-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
111-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
111-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
111-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	B	B				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051235112
		施策	35	市民活動の促進	本冊ページ	87
	関連個別計画					
担当部局			市民部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			112	市民や市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境づくりや市民活動団体の声を受け止める場の創設など、それぞれのニーズに合った支援を充実します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
	担当課		何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
112-1	市民活動団体設立支援事業	協働のまちづくりの推進のため、新たな活動団体の設立時における支援	効	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の設立や運営の支援を行う	◆ 市民活動団体の増加	◎	市民活動団体等への公益的な活動の初期支援を行い、自立した活動へのサポートを行った。 申請数の減少に伴い、令和6年度より事業内容の見直しを行う。
			誰	設立後1年に満たない市民活動団体	◇ 事業の申請件数	○	
	地域連携課		何	市民活動団体が安心して充実した活動ができる環境を作る	100（千円）	見直し	
112-2	市民活動推進事業	協働のまちづくりの推進のため、先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体等への活動支援	効	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の実施事業への支援を行う	◆ 市民活動事業の増加	◎	市民活動団体等への公益的な活動支援及び地域課題を解決するための事業に対する自立した活動へのサポートを行った。 申請数の減少に伴い、令和6年度より事業内容の見直しを行う。
			誰	津市の地域課題を解決するための事業を実施する市民活動団体	◇ 事業の申請件数	○	
	地域連携課		何	市民活動団体による地域課題の解決の支援を行うことで、より住みよいまちづくりの推進を行う	300（千円）	見直し	
112-3	市民活動センター管理運営業務	協働の街づくりの推進のため、市民活動の支援、住民による交流の促進、そのほか地域社会の発展に係る活動の推進に関する支援	効	市民活動を支援するとともに、住民による積極的な交流等の場の提供を行うことにより、地域社会の健全な発展を促進する	◆ 指定管理者による市民活動センターの適切な実施（要求水準に基づく実施）	○	指定管理者による施設の使用許可を始め、市民活動に関する相談業務やセミナーが実施される等、効果的な運営が行われた。
			誰	津市民及び津市の問題解決のための活動を行う市民活動団体	◇ 施設の利用人数	○	
	地域連携課		何	津市における市民活動を促進することにより、津市の地域課題を解決し、住みよいまちづくりの促進を行う	15,562（千円）	現状維持	
112-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和5年度分）

112-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
112-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
112-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
112-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
112-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	④

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	C	C	B	A	A				
今後の方向性	①	③	④	④	④	④				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.